



豊小だより

2021.1.15



2021年スタート！

新年がスタートして、半月が経ちました。遅ればせながら、新年おめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。また、1月8日から大雪の対応では、教育振興会並びに子供会育成会を始めとする保護者の皆様、地域の方々に通学路の除雪や安全確保にご尽力いただき、誠にありがとうございます。本校ホームページのトップページに書かれている“地域協働で子供の成長を見守ります”の文言のとおり、地域全体で豊地区の子供たちを見守っていただいていることを改めて感じ、重ねてお礼申し上げます。

その地域の方と関わり、地域のことを学ぶ学習では、新型コロナウイルス感染対策の制限の中、県内の感染状況にも留意し、でき得る限りの体験活動を行ってきました。本号では、その活動の様子をお伝えします。

<1年>

12月16日、生活科「むかしあそび」の学習で、地域に住む昔遊びの名人から、こまやけん玉、おてだまの遊び方を教わりました。こまとお手玉は、豊地区あじさい元気クラブの方が講師を引き受けてくださいました。けん玉の講師は、豊公民館で開設されている豊生涯学習センター講座でけん玉教室の講師をされている仁科さんをお願いしました。学級毎に三つの昔遊びを順番に体験しました。初めて挑戦した子供たちも、みるみる上達し、上達したことで自信をもち、さらに練習する様子が見られました。

<2年>

10月15日、生活科「どきどき わくわく まちたんけん」の学習で、豊地区の町探検に行きました。8コース、16箇所のお店や施設などを訪問し、お話を聞いたり、体験したり、質問したりしました。道路の歩き方、訪問先に対する挨拶などについても事前に話し合っ練習してから出かけ、実践しました。子供たちは、この町探検を通して、豊地区には様々な場所、様々な人がいることを知り、豊地区の良さを実感することができました。探検後、自分のグループが探検した場所で知ったことや思ったことを、誇らしげに発表する姿に、地域への帰属意識の醸成を感じました。また、21名の保護者の方に活動のサポートにご協力いただきました。保護者の方も初めて知ることだって、子供たちといっしょに探検を楽しんでいただけたようです。

<3年>

3年生は、「食べ物がつまみかや昔の人の食についての知恵について調べることを通して、自分の食生活に目を向けて課題をもち、これからの食生活に活かしていこうとする」ことを探究課題として学習を進めています。“食”の学習で行いたい調理体験は、感染症対策が難しく、昨年度のように豊地区の「食生活改善推進委員」の方といっしょに実習をすることは断念せざるを得ませんでした。しかし、こんなときだからこそ学びたい、感染症に負けない免疫力を付けるための“発酵食”に注目し、体験活動を行うことにしました。そこで、専門的な立場から感染症対策を施すことができる講師をお招きして、味噌やパン作りに挑戦しました。「ふくい地場産学校給食推進事業（農業体験活動の推進）」を活用して「米五」の多田さんと鷺田さんを講師にお招きし、味噌の作り方を教わりまし



た。堅い大豆が水に漬けると膨らむことやそれを煮ると柔らかくなることを、実物を見ながら理解しました。また、料理研究家の清水さんとふくい・くらしの研究所の亀谷さんからは、パンを膨らませる働きをする酵母菌について教えていただきました。温めたバターと牛乳の中に小麦粉を入れて混ぜ、丸めた生地が湯煎で温めることで膨らむことを確かめることができました。

<4年>

4年生は、「福祉を必要とする方との触れ合いや福祉体験を通して、互いに支え合って生きることの大切さに気づき、豊地区を“福祉のあふれる町”にするために、自分たちができることを考える」ことを探究課題としました。4年生も、豊地区の高齢者施設訪問や敬老会へのボランティア活動ができませんでした。そこで、75歳以上のお年寄りに贈られる記念品に添えるメッセージカードを書き、公民館で4枚セットのカードに印刷していただいて、各地区自治会長の方々にお年寄りのお宅に届けられました。また、社会福祉協議会等の協力を得て、盲導犬と暮らしている早苗さんの話をお聞きたり、しあわせ福井スポーツ協会主催の障がい者スポーツ出前講座を体験したりしました。車いすバスケットボールの古崎選手にインタビューもしました。障がいのある方に、生活の様子について質問したり、障がいのある方と触れ合いながら競技を体験したりすることを通して、少しの工夫で障がいの有無に関わらず共に活動できること、夢や目標をもって努力する素晴らしさを学びました。様々な活動を終えた子供たちは、現在、自分たちができることを考え、学校内外に発信する準備をしています。



<5年>

5年生は、「地域の環境(狐川)について調べることを通して、環境を守ること、これからの生活のこと、そして自分たちができることを考えて実行する」ことを探究課題としました。メインとなる体験活動は、狐川の生物・水質調査です。夏休み終了後、授業再開となった8月下旬、JR越前花堂駅近くの狐川に入り、生き物を観察する活動は気持ちよく、夢中になってカワニナやドジョウ、カニなど様々な生き物を見つけました。狐川流域まちづくり協議会の山下会長さんや福井市自然史博物館の出口学芸員さんに教わりながら、生物の名前を調べたり、採取した水の水質調査を行ったりしました。この体験活動をきっかけにして、疑問に思ったことや調べたいことを出し合い、観察やインターネット、図書、インタビューで得た情報をグループで模造紙に書いてまとめました。今後、4年生などに活動の内容や結果を発表する予定です。



<6年>

6年生は、「歴史に関する地域の魅力を掘り起こすことを通して、自分が住む豊地区に愛着をもつとともに、地区の名所・旧跡を紹介し、豊地区の魅力を広く発信する」ことを探究課題としました。豊地区では、現在“豊地区史跡・名所案内マップ ふるさとの道「歩いて見よう 豊の史跡と名所」(仮称)”の編集作業が行われています。そこで、6年生の学習が生かさないか検討し、案内に掲載する予定の20箇所についてグループに分かれて調査し、自分たちでも広報紙のようなものにまとめて発信することにしました。豊地区の皆さんが読みやすいものになるよう、オリジナルのキャラクターを登場させるなど、小学生ならではのアイデアを駆使して作成しています。出来上がったものは、回覧板を通して、ご意見やさらなる情報を寄せていただこうと計画しています。



本校では、地域の学習素材・人材の活用を図り、地域とのつながりを強めることで、地域に愛着と誇りをもつとともに、地域や社会をよくすることに興味をもち、何をすべきか考えようとする子供たちを育てていきたいと願っています。感染症対策で地域行事が中止や規模縮小され、参加が難しい状況ではありますが、時々どのような学習をしているかお子様に尋ねたり、地域のことについてお子様と話をしたりする機会をもっていただけたらと思います。

